

ニュース いちしNEWS

一志総合支所
地域振興課 発行
電話: 293-3000
FAX: 293-5544
令和2年12月16日
第48号

今年もコスモスが咲きました！

とことめの里一志周辺の畑に「平田地区秋桜管理組合」が管理するコスモスが咲きました。

9月1日、一志もりもり会と一志学園高校の生徒による種まきに始まり、2週間後に発芽した後は順調に成長し、10月上旬には最初の花が咲き始め、涼しくなってきた11月初旬に満開となりました。

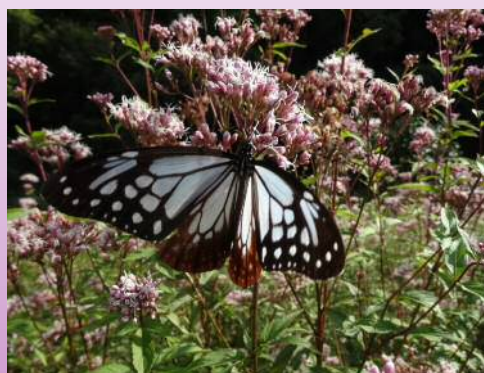
また今年も、同管理組合が地元の業者に依頼して製作した人気漫画の道具をモチーフにしたピンク色のドアが設置され、カップルや家族連れで行列ができるほど好評を博しました。



珍しい渡り蝶の「アサギマダラ」が飛来！

9月30日、一志町波瀬の下之世古自治会が保有する「里の上広場」に、今年も待望のアサギマダラが飛来しました。

今年も、多くの方々のご協力を得ながら、フジバカマの畑を広げたり、来場者の駐車スペースを確保するなどの整備を行い、地域内外から訪れる多くの方に、優雅に飛び交うアサギマダラの姿を楽しんでいただくことができました。



コミュニティバス等の路線・ダイヤが変わります

津市では、コミュニティバス（※1）及び自主運行バス（※2）を運行していますが、移動ニーズに対応できていないケースや、利用の著しく少ない路線の存在、他の公共交通機関との運行の重複、運行経費の増大等といった問題を抱えていることから運行を見直します。

令和3年4月1日から、新たな路線・ダイヤに変わりますので、ご利用の際はご注意ください。

コミュニティバスの路線図・時刻表につきましては、令和3年3月に「広報つ」への折り込みチラシや津市ホームページにてお知らせします。

※1 一般路線バスが運行していない地域等において、地域内等の移動手段を確保するために運行しているバス。

※2 収支の悪化等により廃止となった一般路線バスを津市が維持しているもの。
自主運行バスについては、下記までお問い合わせください。

地域名	旧ルート	新ルート
一志地域	川合ルート	一志東・伊勢中川駅ルート
	高岡ルート	一志西循環ルート



問い合わせ 都市計画部交通政策課 ☎229-3289
一志総合支所地域振興課 ☎293-3000

もしもの時に備えて ～大井地区合同防災訓練～

10月1日、旧大井小学校の運動場で、大井地区合同防災訓練が行われました。

毎年この時期に行われている訓練ですが、今年はコロナ禍で規模を縮小しながら、大井地区自治会と一志学園高校の教員・生徒の皆さんが合同で、段ボールベッドの組み立てと、消火栓ホースや水消火器の取り扱いの訓練を実施しました。

今年は、台風や集中豪雨等の発生が少なかったため、幸いにもこの地域での大きな災害はありませんでしたが、年々風水害の被害は規模が大きくなっているように感じます。

また、日本各地では頻繁に小・中規模の地震が発生しています。

このように、いつ起こるか分からない災害に対して、被害を少しでも軽減するためには、日頃からの備えが重要となってきます。

今後も不測の事態に備え、訓練を継続して行っていく事が、被害の軽減につながると思います。



親子交通安全教室を開催

11月8日、一志体育館において、津市PTA連合会・子ども未来交流委員会の主催で、「親子ふれあいフェスタ・親子交通安全教室」が、津市内の小学生とその保護者を対象に開催されました。

津ドライビングスクール指導員を講師に招き、小学生の交通事故についての講義や、代表者数人による自転車運転シミュレーターを利用した危険予測トレーニングを、また委員会メンバーによる危険予知に関する学習を行いました。

自転車運転シミュレーターで子どもたちは、普段乗っている自転車とは要領が違いため苦戦しながらも、楽しくまた真剣に講師の指導を受けていました。

今回の交通安全教室の体験を通して、親子の絆を深める貴重な時間になったのではないのでしょうか。



つ・環境フェスタ開催のお知らせ

新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度の環境フェスタは新しい方法で開催します。出展者の紹介動画を見てクイズに答えるビンゴゲームや、市内各所を巡ってスタンプを集めるスタンプラリーゲームに参加して、楽しみながら、環境について学びましょう。

と き：令和2年12月16日（水）～令和3年2月17日（水）

ところ：市内全域（出展者の活動場所や環境学習センター等）

注 意：イベントには、事前の検温やマスク着用の上参加してください。

詳しい内容については、ホームページ
「2020つ・環境フェスタ」をご覧ください。



問い合わせ：環境部環境政策課 ☎229-3212

シリーズ 地域の名所旧跡・・・その⑱



(浄閑塚の全景)



(現在の掛樋)



(現在の井溝)

浄閑塚 (井生地区)

井生白山比咩神社近くの山麓に、椎の木に覆われた古びた墓が三基あり、その一基に「浄閑軒鏡移円明居士（じょうかんけんきょういえんみょうこじ）」と刻まれています。この墓は、1678年（延宝6年）に亡くなった大庄屋 寺田文太夫（もんだゆう）という人の墓で、土地の人々は「浄閑塚（じょうかんづか）」と呼んでいます。

当時、紀州藩の政策によって荒野を開き新田を開墾したが、池の水を利用していたため、日照りが続くと水不足となり、百姓は大変困っていました。そこで文太夫は、雲出川の水を利用して川口村杉ヶ瀬浦に堰を造り水を引くことを考えました。川口村がそのことを認めたので、井生村の人々は、堰（井生井堰）造りを始めたが、水路は約2 kmもあり、そのうえ水を導く途中には大きな崖や弁天川があって難工事でしたが、1659年（万治2年）ようやくこの井堰が完成し、新たな水田も苦勞のすえ開墾しました。

文太夫は1678年（延宝6年）病に倒れますが、死に際して「私が死んだらこの開墾した田畑が一望できる地へ埋めてほしい。私はそこで当時私といっしょに苦勞してくださった井生の人々のことを思い、後を継ぐ子孫の幸せを見守りたい」と言い遺しました。家の人たちはその言葉どおりの地を選んで塚を築いたということです。

(引用主要文献「一志町史」)

語り部さんと歩こう！『歴史ウォーク』が開催されました

11月13日（金）一志町歴史語り部の会主催で、「第20回歴史ウォーク＜北畠氏の出城波瀬城跡と平家伝説ゆかりの地を訪ねる＞」が開催されました。

コロナ禍で例年より少ない20人の参加でしたが、JA旧室の口支店前から出発し、伊勢国司北畠氏ゆかりの波瀬城跡・地藏塚と波瀬館跡・蛭子神社、平家伝説の薬師堂・名免蛇羅の釜ヶ淵・平家塚を訪ね、波瀬ふれあい会館前までの約5kmを3時間程かけて、伊勢と大和を結ぶ波瀬の古道を歩きました。

